



令和7年度

# 新庄小学校だより 11月号



学校の教育目標「主体的・対話的にくらしをよりよくしていこうとする子どもの育成」に向かって歩む子供たちの姿を掲載していきます。今月は2年生と5年生です。

## 心を合わせて Go ! Go ! Go ! ~5年生~

5年生は4月から、毎朝学年で歌を歌い続けてきました。歌で一日が始まるのが日課となり、最初は恥ずかしそうに歌っていた子供たちも笑顔で歌ったり、精一杯声を出して歌ったりできるようになっていきました。

区域連合音楽会に向けて、9月に初めて体育館で練習を行いました。Hさんは「歌うのは楽しいのに、体育館という広い場所で歌うだけで足が震えてうまく歌えない。たくさん的人が聴いていることを想像したら…」と不安な気持ちを学年の仲間に語りました。それを聞いた子供たちは自分なりの緊張を解く方法を話したり、練習をもっと積み重ねていくことで不安も少なくなると話したりしました。そして音楽会では、「力を発揮できるようにしたい」「歌うことを楽しんで、その楽しさを聴いている人に届けたい」という目標をもって歌いました。音楽会を終えてHさんは、「ずっと一緒に練習してきたみんなとだから、本気で歌うことができた」と語り、仲間と共に頑張ることの心地よさを感じていました。さらに学習発表会に向けて迫力のあるものにしたい、歌の楽しさが伝わるようにしたいなど、もっとよりよくしたいという思いをもちました。子供たちからは、「リズムに乗って体を揺らす」「手拍子や動きを入れて盛り上げる」「さらに明るく楽しい表情で全員の心を一つにする」など様々なアイディアが出てきました。学年みんなで合唱をつくり上げていくことで、一つ一つやり遂げていくこと、やり遂げたことに満足せずによりよいものを目指していくことの大切さを学んだ子供たちでした。



これからも、様々なことに挑戦し、仲間と共に高め合っていこうとする子供たち、そして高学年として頑張ろうとする子供たちを支えていきます。

## 自分たちで考え、取り組んだ学習発表会～2年生～

2年生は、学習発表会で音楽科の学習で学んだ歌や鍵盤ハーモニカの演奏、楽器によるリズム打ち等を劇の流れの中で表現しました。9月の中頃から役割を決め、それぞれの役割毎に練習をしました。どんなセリフにしようか、どんな衣装にしようか、どんな動き方をすればいいだろうか、考えることはたくさんありました。虫グループでは、誰がどの虫を担当するか決めるときに、「スズムシがいい」「マツムシがいい」と希望が重なり、なかなか決まりません。そんな中Kさんが「私は何でも頑張れるから〇〇さんが選んでいいよ」と言いました。また、カエルグループでは、セリフが苦手な友達に〇さんが、「一緒に言おう」と、2人や3人で言うセリフを考えていました。友達のことを思って行動できる素敵なかついた2年生でした。

全体で練習を始めた頃、見に来てくださった方たちにどんな姿を見せたいか話し合いました。「自分が頑張って練習してきた姿を見せたい」「姿勢よく歌ったり演奏したりしている姿を見せたい」という思いが出てきました。これまでパートに分かれて練習を行ってきたので、全体で通してみると揃わなかったり、戸惑ったりしてしまうのは当然のことです。しかし、見せたい姿を目標に「次のぐんぐんタイムも集まって練習しよう」「セリフがまだ合わないから集まろう」と自分たちで声をかけ合い、役割毎に集まって練習していました。「自分たちの役割を全力でやりたい」「2年生の学習発表会を成功させたい」という気持ちが溢れていきました。セリフや動き、衣装の全てを自分たちで考えていった子供たち。2年生全員でつくり上げた学習発表会でした。



これからも、子供たちが自分で考え、取り組んでいく姿勢を大切にしていけるように支援していきます。